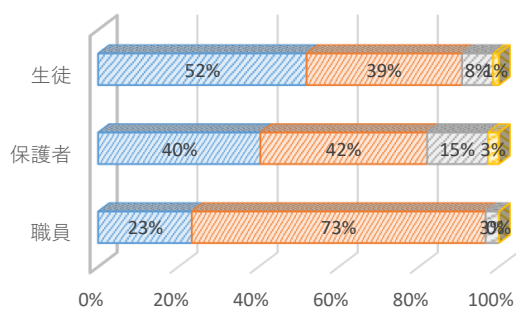


令和6年度 後期学校評価

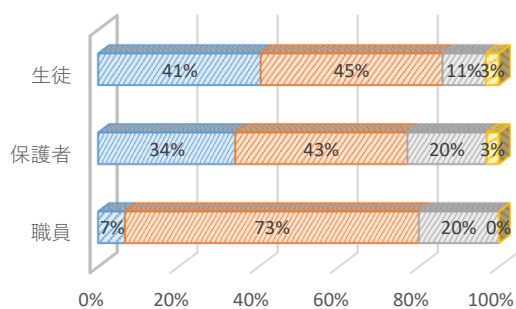
1 生徒は、生き生きと活動している

■ そう思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ そう思わない

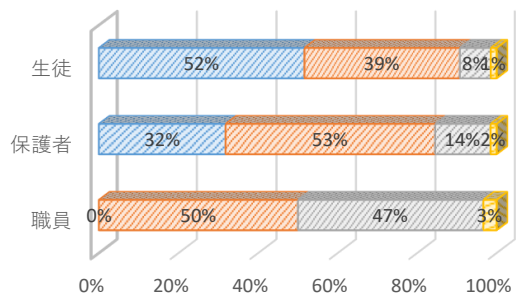


2 生徒は、生活のめあてを持ち、達成に向け努力している

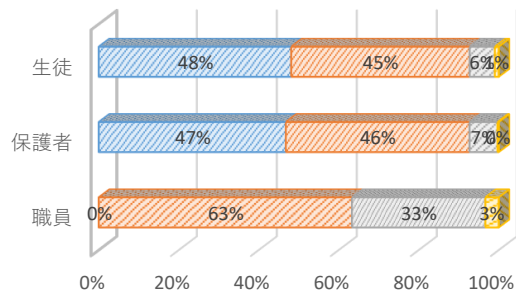
■ そう思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ そう思わない



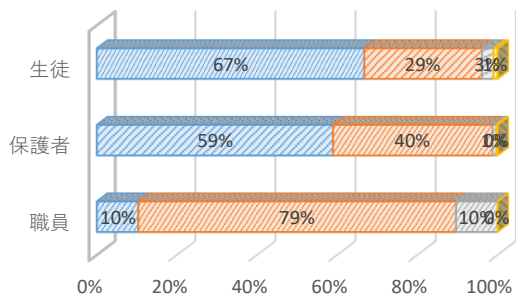
3 生徒は、進んであいさつし、礼儀正しく生活している



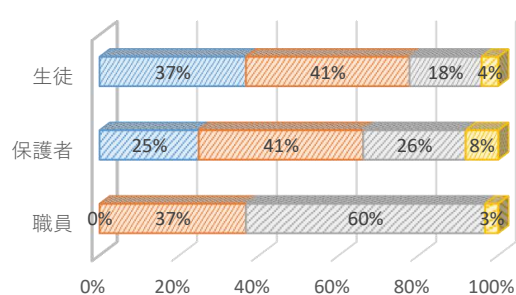
4 生徒は、善悪を判断し、よりよい生活づくりに取り組んでいる



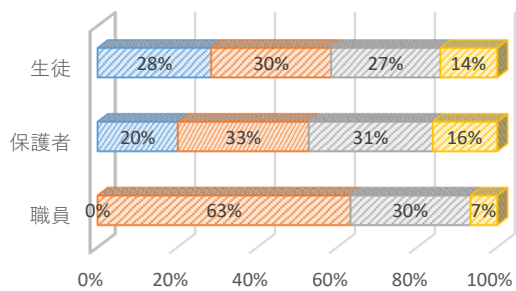
5 生徒は、仲間を大切にし、思いやりの心をもって生活している



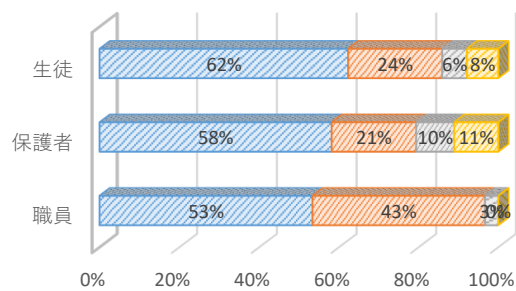
6 生徒は、意欲的に学習に取り組んでいる



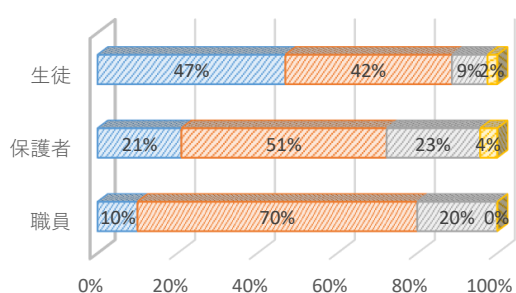
7 生徒は、進んで家庭学習に取り組んでいる



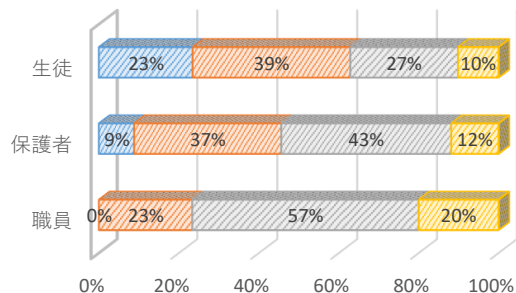
8 生徒は、積極的に部活動に参加・取り組んでいる

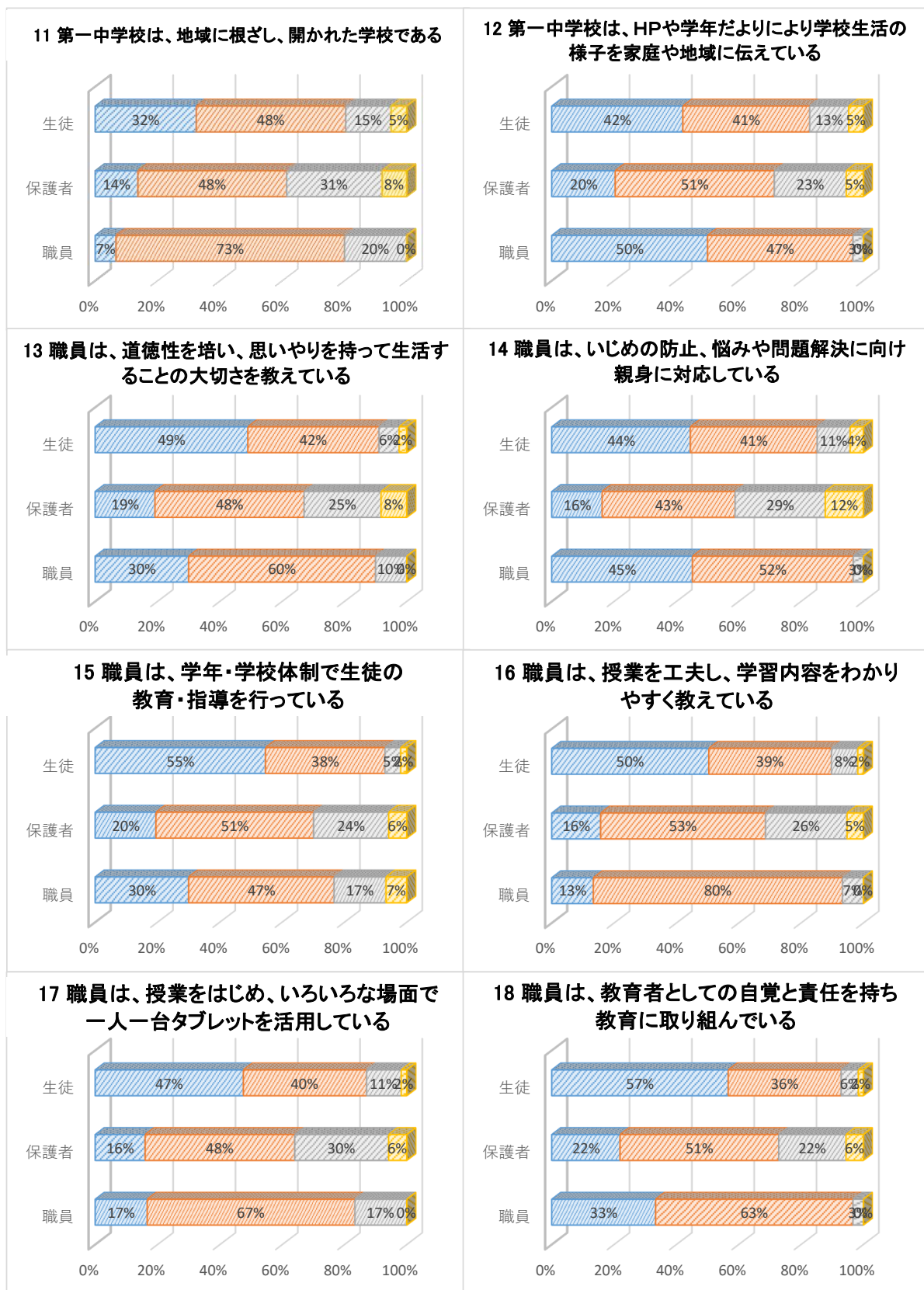


9 第一中学校は、生徒主体の活動が盛んである



10 第一中学校は、安全、安心、清潔な環境である





「考察」

○すべての項目で生徒、保護者と職員の差が前期よりも多くなった。

○職員のポイントが低い項目は、現状に満足せずにもっと向上させることが必要と考えている職員が多数いると考えられる。しかし、年間を通して生徒の成長へとつなげることができなかつたり、指導すべきことができていないところもある。教師の思いを具体的な指導法に変換し、生徒の成長につながる日々の教育活動を継続していく必要があると考える。

○保護者のポイントが低い項目は、学校に対し、さらなる期待の大きさと考えられる。その反面、生徒の行動には概ね満足している。また、生徒はほとんどの面で概ね満足している。さらなる向上に向ける具体策の検討が必要と考える。